

安全データシート

作成:2007年 7月20日

改訂:2023年 3月31日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : KI108-04
製品名 : エコマスターBT
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
皮膚感作性 : 区分1A

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・強い眼刺激
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

【安全対策】

- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。

【応急処置】

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。
- ・皮膚に付着した場合は、多量の水で洗うこと。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

- ・該当しない

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名／一般名：バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

成分及び含有量：バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

10.0%

<その他> 糖類・界面活性剤等

90.0%

官報公示整理番号： 化審法 非該当
安衛法 非該当

C A S No. : 68038-71-1 バチルス・チューリンゲンシス菌の生芽胞及び産生結晶毒素

4. 応急措置

眼に入った場合：眼を擦ってはならない。まぶたを開いた状態に保つ。できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診察／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。直ちに汚染された服と靴を取り除く/脱ぐ。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。口対口法を用いてはならない。鼻、口、喉を水でゆすぐ。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診察／手当てを受けること。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

飲み込んだ場合：口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。体を毛布などで覆い、保温する。直ちに医師の診察／手当てを受けること。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。口対口法を用いてはならない。物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

応急措置をする者の保護：救助の際は保護具を着用する（「8. ばく露防止及び保護措置」を参照）。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：二酸化炭素、粉末、泡（初期火災）、泡消化剤、水噴霧（大規模火災）を用いて空気を遮断する。

使ってはならない消火剤：棒状水

消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。燃焼または高温により有毒ガス（一酸化炭素等）が発生することがあるので、呼吸用保護具を着用する。容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。移動ができない時は、容器に注水または周囲に散水して冷却する。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置をする。

消火活動上の注意：消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業の際には保護具（8. ばく露防止及び保護措置欄参照）を着用し、粉末等が皮膚に付着したり、粉塵、ミスト、ガスを吸入しないようにする。風下の人を退避させ、風上から作業する。付近の着火源となるものは速やかに取り除く、着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。漏洩した場所の周辺にロープなどを張るなどしてして関係者以外の立入りを禁止する。こぼれた場所は滑りやすいので注意する。

環境に対する注意事項：漏出物を河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。適切ならば、粉塵を防ぐためにまず湿らせる。真空で吸い取るなど粉塵が飛散しない方法で回収する。汚染した箇所を洗剤と水で洗浄し、洗浄水は全て密閉できる容器(廃棄物入れ)に回収する。処分は廃棄上の注意に従い処分する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意：換気のよい場所で取扱う。屋内で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。取扱い場所近くに、緊急時に洗眼および身体洗浄を行うための設備を設置する。着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用して取扱う。休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。また、休憩場所には汚染された保護具を持ち込まない。

火災・爆発の防止：通気をよくし、蒸気が滞留しないようにする。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。

接触禁止物質：酸、塩基、酸化剤

保管上の注意：直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

第3種粉じん－総粉じん 8mg/m³ 日本産業衛生学会 (2022年版)

第3種粉じん－吸入性粉じん 2mg/m³ 日本産業衛生学会 (2022年版)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用する。取扱い場所近くに、緊急時に洗身シャワー、手洗い、洗眼を行うための設備を設ける。

衛生対策：発散した粉塵・蒸気・ミストを吸い込まないように適切な保護具を着用して取扱う。

保護具 呼吸用保護具：防じんマスク

保護手袋：ゴム手袋(不浸透性)

保護眼鏡：保護眼鏡、保護面

保護衣：保護服、帽子、ゴム等の前掛け、長靴等

9. 物理的及び化学的性質

外観等	: 褐色水和性細粒および微粒
臭い	: データなし
pH	: 4.3 (20%懸濁液、20℃)
融点/凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限/可燃範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対ガス密度	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
比重	: 0.54(見かけ比重)
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子性状	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	: この製品の粉体は爆発性の粉じん雲を形成するおそれがある。
避けるべき条件	: 裸火、機械火花、電気火花、加熱、高温表面、摩擦熱、電気放電など
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼により、一酸化炭素等が発生する恐れがある。

1 1. 有害性情報

急性毒性(経口)	: ラット LD ₅₀	>5,000 mg/kg
急性毒性(経皮)	: ウサギ LD ₅₀	>2,000 mg/kg
急性毒性(吸入:蒸気)	: データなし	
急性毒性(吸入:粉じん)	: データなし	
皮膚腐食性/刺激性	: ウサギ	軽度の刺激性あり
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: ウサギ	軽度の刺激性あり
呼吸器感作性	: データなし	
皮膚感作性	: モルモット	感作性あり(ピューラー法) かぶれやす体質の人は取扱いに十分注意すること。
生殖細胞変異原性	: データなし	
発がん性	: データなし	
生殖毒性	: データなし	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし	
誤えん有害性	: データなし	

1 2. 環境影響情報

生態毒性 魚	: (コイ)LC ₅₀	>50 mg/L ばく露時間96h (エスマルクDF)
甲殻類	: (オオミジンコ)EC ₅₀	>50 mg/L ばく露時間48h (エスマルクDF)
藻類	: データなし	
残留性/分解性	: データなし	
生体蓄積性	: データなし	
土壤中の移動性	: データなし	
オゾン層への有害性	: UNEP-オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のための ハンドブックのリストにない。	
その他	: ミツバチ、蚕に対して影響がある。	

1 3. 廃棄上の注意

使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。容器の洗浄水等は河川に流さない。
都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

1 4. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。
輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

国連分類	: 非該当
国連番号	: 非該当

1 5. 適用法令

農薬取締法	: 登録番号 第21944号
-------	----------------

消防法	: 非該当
労働安全衛生法	: 粉塵障害防止規則
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献:
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
 - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
 - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
 - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
 - 5) 住友化学(株) フローバックDF 安全データシート (2022年5月2日改訂版)

作成部署以外の連絡先

(財団法人) 日本中毒情報センター

大 阪 (年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。